

ロンドン、2019年3月12日

イタリアのフェラルピ製鉄向けビレット連続鑄造機改造工事が完工、稼働開始

- 生産能力を10%増の年産120万トンに増強
- ビレット断面を150ミリメートル角に大断面化（将来的には160ミリメートル角まで対応）
- プラントの稼働率が向上

プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、イタリアのフェラルピグループ傘下のフェラルピ製鉄（Feralpi Siderurgica S.p.A.）ロナート・デル・ガルダ製鉄所向けに6ストランド式ビレット連続鑄造機の改造工事を完工し、同基は稼働を開始しました。本プロジェクトは、110万トンから120万トンへのビレット年産能力増強、150ミリメートル角へのビレット大断面化（将来的には160ミリメートル角まで対応予定）、そしてプラント稼働率向上を目的として実施されました。

フェラルピグループは、建設業向け鋼材を専門とするイタリアの主要鉄鋼メーカーで、イタリア国内で子会社4社を運営するほか、欧州と北アフリカに生産拠点と営業拠点を保有しています。フェラルピ製鉄はフェラルピグループ傘下で一番古い1968年の設立で、イタリアにおける鉄筋棒鋼、ワイヤーロッド、電気溶接メッシュなどの補強鋼、および関連製品のリーディングサプライヤーです。

イタリア・ブレシア県にある同社のロナート・デル・ガルダ製鉄所では、本改造工事が行われるまで、年産能力110万トンのビレット連鑄機で、建設業向けの中炭素鋼、炭素鋼および低合金鋼の鋼種を対象として断面140x140ミリメートルのビレットを生産していました。

今回の改造プロジェクトでは、鑄片の摩擦を低減するモールドテーパと底部のコーナー部を開放した新型高速鑄型システム「ダイヤモンド（DiaMold）」が同基に搭載されました。さらにオンラインで鑄型の振動パラメータを柔軟に調整できる油圧オシレーターシステム「ダイナフレックス（DynaFlex）」の導入により、ストランドに接するビレットの表面品質も改善されます。

当社はこれらのコンポーネントの基本・詳細設計および製作・納入を担当したほか、二次冷却システムとダミーバーヘッドの機器更新、さらに、矯正ひずみを最適化するため、プライメタルズテクノロジーの連続矯正モデルに従って既存の矯正機の改造も行いました。



プライメタルズテクノロジーによって近代化されたイタリアのフェラルピ製鉄ロナート・デル・ガルダ製鉄所のビレット連続機

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: twitter.com/primetals

Primetals Technologies, Limited
A joint venture of Siemens, Mitsubishi Heavy Industries and Partners
Communications
Head: Gerlinde Djumljija

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road
W4 5YS London
United Kingdom

Reference number: PR2019031771jp

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : www.primetals.com